



おおぶ議会だより

第104号

2023
8月1日

きがいの 広場 ひろば



新しい議員が
決まりました..... ②

6月定例会の一般質問..... ⑧

議会へ傍聴に行こう!..... ⑱



大府市議会ウェブサイト

吉田小学校の子どもたち

わたしたちが
大府市議会議員
です

～4年間よろしくお願ひします～

5月1日から新たな顔ぶれでスタートしました。市民の皆さまにとって、身近な議会を目指しています。行政に関するお困りごとやご相談がありましたら、お気軽にご連絡ください。
議長 鷹羽琴美

任期：令和5年5月1日から令和9年4月30日まで (議席番号順に掲載)



こやま まさこ
小山昌子



かも やすはる
加茂康治



かにえ みちたか
蟹江陸孝



ほんだ まさし
本田雅志



ひさなが かずえ
久永和枝



のぎた たかはる
野北孝治



きのした ひさこ
木下久子



みやした しんじ
宮下真悟



いino ゆうすけ
飯尾祐介



いなば ゆかり
稲葉裕加里



たけだ たかはる
竹田隆憲



ふじもとむねひさ
藤本宗久



おおた かずとし
太田和利



しばさき ともこ
柴崎智子



くにもと れいこ
国本礼子



もりやま まもる
森山 守



はやかわたかみつ
早川高光



さかい しんじ
酒井真二



たかば ことみ
鷹羽琴美



議会の構成

- 議長 鷹羽琴美
- 副議長 木下久子

■ 東部知多衛生組合議会議員

- 鷹羽琴美 野北孝治
- 早川高光

■ 知北平和公園組合議会議員

- 鷹羽琴美 加茂康治
- 太田和利

■ 知多北部広域連合議会議員

- 鷹羽琴美 宮下真悟
- 藤本宗久 柴崎智子

■ 愛知県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 鷹羽琴美

会派の構成

- ◆ 親和クラブ 9人
 - ◎ 藤本宗久
 - 酒井真二
 - 太田和利
 - 本田雅志
 - 早川高光
 - 鷹羽琴美
 - 稲葉裕加里
 - 竹田隆憲
 - 蟹江陸孝
- ◆ 公明党 2人
 - ◎ 柴崎智子
 - 国本礼子
- ◆ 無所属クラブ 2人
 - ◎ 宮下真悟
 - 飯尾祐介
- ◆ 日本共産党 1人
 - 久永和枝
- ◆ 市民クラブ 4人
 - ◎ 木下久子
 - 野北孝治
 - 小山昌子
 - 加茂康治
- ◆ 無会派クラブ 1人
 - 森山 守

◎は代表者

議会運営委員会

令和5年の活動テーマ
「ICT化の推進について」



早川高光 太田和利 小山昌子 宮下真悟
国本礼子 藤本宗久 野北孝治
(委員長) (副委員長)

総務委員会

令和5年の活動テーマ
「協働のまちづくりについて」



早川高光 久永和枝 竹田隆憲 加茂康治
鷹羽琴美 小山昌子 柴崎智子
(委員長) (副委員長)

厚生文教委員会

令和5年の活動テーマ
「子どもの多様な学びについて」



稲葉裕加里 本田雅志 木下久子
藤本宗久 国本礼子 宮下真悟
(委員長) (副委員長)

建設産業委員会

令和5年の活動テーマ
「中心市街地の活性化について」



蟹江陸孝 野北孝治 飯尾祐介
酒井真二 太田和利 森山守
(委員長) (副委員長)

表彰受賞者

一般表彰 (議長4年)



早川高光議員

特別表彰 (議員20年)



酒井真二議員



大西勝彦氏

◆全国市議会議長会
◆東海市議会議長会



5月臨時会・6月定例会の審議結果

結果の表示	◎全会一致で可決、同意、承認、採択 ○賛成多数で可決等 ▲賛成少数で否決等 □ は、賛否が分かれた議案
-------	--

5月臨時会（5月12日）

番号	件名	結果
議案	36 令和5年度大府市一般会計補正予算（第2号）	◎
	37 工事請負契約の締結について（大府市民球場改修工事） 契約金額 743,600,000円 契約の相手方 株式会社花井組	◎
	38 工事請負契約の締結について（大府市民球場外構工事） 契約金額 303,600,000円 契約の相手方 株式会社花井組	◎
選挙	1 議長選挙について	—
	2 副議長選挙について	—
	3 東部知多衛生組合議会議員の選挙について	—
	4 知北平和公園組合議会議員の選挙について	—
	5 知多北部広域連合議会議員の選挙について	—
その他	— 議会運営委員会委員（正副委員長）の選任について	—
	— 閉会中における議会運営委員会の調査研究付託案件について	◎
	— 常任委員会委員（正副委員長）の選任について	—

選挙等による議会構成は、2ページ及び3ページに掲載のとおりです。

6月定例会（6月2日～6月27日）

番号	件名	結果
議案	39 大府市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について 外国人保護（生活保護）の事務について、個人番号を利用できる事務への追加等	○
	40 大府市税条例の一部改正について 森林環境税の導入に伴う規定の整備等	○
	41 大府市下水道条例の一部改正について 排水設備指定工事店の指定等の手続及び必要書類に係る規定の整備	◎
	42 大府市火災予防条例の一部改正について 急速充電設備を設置する際の位置、構造及び管理に関する基準に係る規定の整備等	◎
	43 令和5年度大府市一般会計補正予算（第3号）	◎
	44 市道の路線認定について 市道3423号線（吉川町）	◎
	45 工事請負契約の締結について（屋上防水・壁面シーリング等補修工事（大府市庁舎）） 契約金額 291,500,000円 契約の相手方 株式会社愛知工務店	◎
	46 農業委員会委員の任命について 久野一弘氏 鈴木広子氏 成田正彦氏 服部啓子氏 深谷英一氏 本田貴士氏 鈴置省悟氏 竹内修造氏 加古俊治氏 浅田昭茂氏 久野恵子氏 小島春男氏 大威千里氏	◎

番号	件名	結果
議案 47	令和5年度大府市一般会計補正予算(第4号)	◎
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 山口峰生氏 内田正則氏	◎
請願 1	「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」の導入に関する請願	◎
その他	議員派遣について	◎
	閉会中における常任委員会の調査研究付託案件について	◎

賛成・反対が分かれた議案

(全会一致の議案は省略しています)

会派名	親和クラブ									市民クラブ				公明党		無所属クラブ		共産	無会
議員名 番号	蟹江陸孝	本田雅志	稲葉裕加里	竹田隆憲	藤本宗久	太田和利	早川高光	酒井真二	鷹羽琴美	小山昌子	加茂康治	野北孝治	木下久子	柴崎智子	国本礼子	宮下真悟	飯尾祐介	久永和枝	森山守
議案39	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠
議案40	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 (議長は地方自治法の規定により、議決に加わるできません。)
会派名のうち、「共産」は日本共産党、「無会」は無会派クラブです。

議案審査

《5月臨時会》

総務委員会

令和5年度大府市一般会計補正予算(第2号)

問 「バイオリンの里 デジタルミュージアム」でのこれまでにない体験とは、どのようなものか。

答 メタバース上でバイオリン工房やバイオリンの研究が行われていた済韻研究所の再現等を考えている。その中で、バイオリンの製造過程や、鈴木政吉氏が制作した第1号バイオリン及び第3号バイオリン、アインシュタインからの手紙の3D化を想定している。



▲鈴木政吉氏の第3号バイオリン

問 「バイオリンの里 デジタルミュージアム」は、いつから利用できるのか。

答 令和6年2月頃にオープンしたいと考えている。

厚生文教委員会

令和5年度大府市一般会計補正予算(第2号)

問 ICT支援員が女性デジタル人材育成基礎講座の講師となることで、勤務先の教職員や児童に支障が出ることはないか。

答 講師を予定しているICT支援員は、おおむね週に2日程度の勤務であり、勤務以外の時間に対応してもらうため、学校には支障がないと考えている。

問 未就園児の定期的な預かりモデル事業について、普段から通所している園児とスムーズに交流できるように、園内での生活に段階的に慣らしていく上で、どのような工夫を考えているか。

答 未就園児が安心して過ごせるよう、担当保育士が専用の保育室で保育を行う。慣れてきた状況を見て、保育園に入所している同年齢の他児と関わる機会をつくり、交流を通して子どもたちの発達を促していく。

問 若年がん患者在宅療養支援事業補助金について、病状により本人が申請できない場合、代理申請は可能か。

答 患者本人が外出できない場合も想定されるため、代理申請も可能とする予定である。

工事請負契約の締結について

問 大府市民球場の工事に伴い、工事車両の出入りや工事の騒音などが懸念されるが、近隣住民の理解は得られているか。

答 工事の概要については、自治区への説明や地域の回覧板で周知しているが、今後も、地域住民に説明する機会を設ける予定であるので、その中で理解を求めていく。



▲工事完了後の大府市民球場(イメージ)

建設産業委員会

令和5年度大府市一般会計補正予算(第2号)

問 今回整備工事をするJR大府駅東口の南側の用地をどのように活用していくのか。

答 多目的スペースとして整備し、駅前の人々が立ち寄れるスペースとするほか、特産物の販売やキッチンカーの乗り入れなどを見込んでいく。



▲JR大府駅東口多目的スペース予定地

問 畜産クラスター事業補助の対象となる事業の報告を公表する考えはあるか。

答 事業の実施体制や取組内容については、事業完了後、市公式ウェブサイトで公開していきたいと考えている。

《6月定例会》

総務委員会

大府市税条例の一部改正について

問 森林環境税の徴収総額は幾らを見込んでいくのか。

答 納税義務者一人当たり千円を5万人程度見込んでいるので、五千万円程度になると考えている。

令和5年度大府市一般会計補正予算(第3号)

問 自治総合センターコミュニティ助成金は、どのような趣旨で申請しているのか。

答 この助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として実施されているものであり、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するコミュニティ活動に必要な備品の整備等に対して行うものである。

問 令和5年秋巡業大相撲大府場所への招待者を市内に避難しているウクライナ人、特別支援学校に通っている市内在住の児童生徒と付添いの保護者及び市内在住のひとり親世帯とした理由は何か。

答 対象者にとっては名古屋場所まで出掛けることが難しいと考え、市内で開催する巡業に招待することとした。



▲10月15日開催の大相撲大府場所

工事請負契約の締結について

問 市庁舎の屋上防水・壁面シーリング等補修工事の工事期間に余裕期間制度を採用した理由とメリットは何か。

答 この制度は、国が推奨している施工時期の平準化の取組の一つである。受注者の都合に合わせて工事期間の設定ができることから、資材や労働者の確保が柔軟にでき、業者が入札に参加しやすくなること期待できる。

問 防水工事や塗装の施工後は、どのように維持管理をしていくのか。

答 公共施設の長寿命化計画による計画的な修繕や、委託業者による定期的な目視の点検等で異常が報告されれば、その都度補修を行っている。

厚生文教委員会

大府市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

問 生活に困窮する外国人に係る事務において、今回の条例改正によるメリットは何か。

答 医療扶助の資格確認において、日本人と同様に個人番号を利用したオンラインによる方法が可能になることから、医療機関の窓口での混乱がなくなる。また、オンライン管理の端末で資格確認ができるため、生活保護を受けていることを窓口で伝える必要がなくなり、プライバシーが守られる。

令和5年度大府市一般会計補正予算 (第3号)

問 利用支援の対象となる多様な集団活動事業とは、どのようなものか。

答 市内在住の小学校就学前の子どもが利用する集団活動事業としては、自然体験活動を特徴とするものや、外国人等を主たる対象とするものを想定している。

問 大府小学校及び石ヶ瀬小学校にエレベーターを設置することで、障がいのある子どもへの合理的配慮に基づき支援の在り方や、当該児童等の負担軽減という観点から、どのような効果が見込まれるか。

答 エレベーターの設置により、移動時間の短縮が図られ、車椅子を使用している児童が集団生活を円滑に送れるようになり、介助をしていた教職員の負担軽減にもつながる。



▲小学校に設置されるエレベーター (イメージ)

問 部活動地域移行モデル事業の対象部活動が3種目に限定されているが、ほかの競技も検討していく予定はあるか。

答 モデル事業としては3種目だが、今回の事業を検証し、今後、ほかの種目に広げることも考えていく。

建設産業委員会

大府市下水道条例の一部改正について

問 排水設備指定工事店の登録等の事務を県内市町で共同化し、事務手続及び申請に係る必要書類を統一することで、どのようなメリットがあるか。

答 本市のメリットとしては、事務負担が軽減されること、また、事業者については、事務の効率化による利便性の向上が図られることである。

令和5年度大府市一般会計補正予算 (第4号)

問 畜産の配合飼料価格の上昇分の一部補助については、県の補助額に上乗せして行う本市独自の事業である。県内の他市町と比較してどのような内容になっているのか。

答 他市町で、畜産の飼育数に応じた補助などを実施している事例は

あるが、本市が行う、畜産の配合飼料価格上昇分の4分の1以内の補助は、他市町と比較して手厚いものになっている。

問 補助を受けた畜産農家の売上げや自立の状況などを確認していくのか。

答 配合飼料の価格が高止まりしているため、補助をしながら、畜産農家の状況を確認していく。



市道の路線認定について

問 吉川町六丁目新たに築造された本道路に、防犯灯の設置は計画されているか。

答 今後、設置する予定である。

一般質問

(16人) ※正副議長は一般質問を行わない慣例になっています。



互いに認め合う
共生社会の実現に向けて

国本 礼子 議員



質 問 全庁的な印刷物へのアクセシビリティ対応として公的な通知を発送する場合の封筒に音声コードを記載してはどうか

答 弁 視覚障がいのある方が、発信元がわからないことにより情報取得の機会を失うことがないように、市からのお知らせが入っている封筒とわかるような音声コードを記載することの必要性について、全庁的に情報共有を進めていく。

質 問 水道使用水量等のお知らせの検針票に音声コードを記載してはどうか

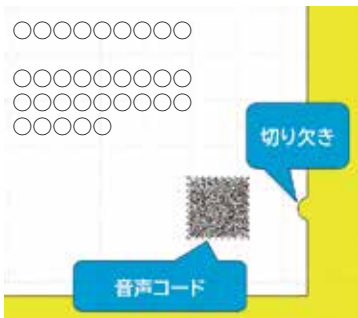
答 弁 令和7年度に予定している検針システムの更新にあわせて、音声コードの導入について、費用対効果も含め、検証を進めていく。

質 問 大府市防災ガイドブックに音声コードを掲載することへの見解はどうか

答 弁 次に防災ガイドブックを更新するときは、障がいの有無にかかわらず、誰もが必要とする情報に早くたどり着くことができるよう、音声コードも含め、アクセシビリティに配慮した情報の提供ができるように調査研究していく。

質 問 コンサート等の案内チラシに音声コードを掲載し、視覚障がい等の方の社会参加の機会を促進してはどうか

答 弁 作品の内容とともに、障がいの特性をその都度十分に配慮した上で適切に実施できるよう努めていく。



▲【例】音声コードと切り欠き

※アクセシビリティとは、近づきやすいこと。物を得やすいこと。また、道具などの使いやすさ、情報やサービスに対する利用のしやすさのこと。
※音声コードとは、文字や数字を記録して音声データとして出力できる二次元コードのことで、視覚障がい者等に向けた印刷物などに利用される。



交通死亡事故ゼロ継続を目指す
交通安全の取組について

加茂 康治 議員



質 問 通学路のグリーンベルト整備は今後どう進めていくか

答 弁 学校関係者や自治区等から要望をいただいた道路において、ドライバーに対して通学路として注意喚起することが必要と判断する場合に実施している。そのほかの安全対策として、本年度は北山、桃山地区の小学校周辺においてゾーン30プラスを整備する。

質 問 住宅地の生活道路の安全確保をどう考えているか

答 弁 路上駐車取締りは、警察官の現地確認が必要であるため、路上駐車の見守りに、速やかに東海警察署へ通報するよう説明とともに案内している。地域及び小中学校から要望のあった危険箇所等では、登下校の時間帯に東海警察署と連携して、地域安全推進員による立哨等の啓発活動を実施している。

質 問 ヘルメットの着用率の向上をどう進めていくか

答 弁 小中学校への自転車交通安全全教室や寿大学等でのヘルメット着用の啓発に加えて、多くの人が集まるショッピングセンター等においても、東海警察署と連携して、自転車乗車時のヘルメット着用等の交通安全啓発を実施する。

質 問 救急体制の整備をどう考えているか

答 弁 現在、救急車4台の体制で救急業務を行っている。近年は様々な要因により、救急出動件数が増加傾向にあり、今後増加していくと見込んでいる。救急出動件数の増加への対応と現場到着時間の短縮による救命率の更なる向上のため、令和7年度から救急車5台を運用することを見据え、来年度に新たに救急車を1台拡充するとともに、必要な救急隊員を確保する。



大府市側溝改良計画について

蟹江 陸孝 議員



質 問 側溝に関する要望数及び要望数に対する実施率はどのくらいか

答 弁 平成29年度から昨年度までは162件あった。そのうち、27件が工事を完了し、実施率は約17%となっている。

質 問 優先度の判断基準を見直す考えはあるか

答 弁 要望を受け付けた道路については現場確認を行い、本計画の優先順位の検討指標である「市街化区域等の区域区分」、「通学路の指定」、「交通量」、「学校等の近接」、「現況施設の老朽度」、「周辺整備状況」、「要望状況及び関連事業の有無」に従い、優先度付けをしている。本市でも高齢者からの要望が多くを占めていると感じ、これらの要望を反映している状況にあるので、これまでどおりパブリックコメントを経て策定した

本計画の優先順位の検討指標に従い実施していきたいと考えている。

質 問 要望への検討結果、実施時期を、よりわかりやすく市民に伝える考えはあるか

答 弁 日頃から多くの要望があり、緊急性や優先度の高い路線が追加となる可能性に加え、設計段階では周辺住民、警察、上下水道やガスを始めとした道路占有者など関係者との調整により、工事年度や区間などが変更し、状況によっては中止となることもある。したがって、地域住民には確実に工事が実施できる段階で工事の詳細を回覧板などで伝えることになる。



▲側溝改良後



道路計画の取組状況と防災の取組について

酒井 真一 議員



質 問 都市計画道路の整備計画が遅々として進まない理由は何か

答 弁 県施工分の都市計画道路には多くの未整備区間があるが、愛知県の限られた予算の中で早期に着手するよう、引き続き、要望活動を行っていく。事業段階では、用地取得において、多くの協議、調整に加え、何より地権者の理解が必要となり、長い時間を要することが多くなっている。

質 問 梶田町六丁目周辺の渋滞緩和策をどのように講じてきたか

答 弁 愛知県が、惣作交差点から横根町交差点の区間で、現道内で車線数を増やす工事を実施した。また、民間の研究機関により、梶田町六丁目交差点を含む国道366号の三つの交差点において、信号サイクルを短縮することで右折待ち車両によ

る直進阻害を軽減させ、渋滞緩和を図る趣旨で実証実験も行われた。また、幹線道路の渋滞により、北山小学校を含む地区の生活道路が抜け道として利用され、歩行者の安全確保が危惧されていることから、警察と連携し、本年度にゾーン30プラスとして区域を定め、最高速度30キロメートル毎時の速度規制を実施するとともに、区域内にハンパやスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせた対策を行い、通過車両の速度抑制や通過交通の抑制による交通安全の向上を図っていく。

質 問 避難に関係する情報を伝達するタイミングはどのように判断するのか

答 弁 気象台の降雨予測とともに、土砂災害警戒情報、河川の水位とあわせて、各災害対策支部からの現地の情報をもとに、災害対策本部で総合的に発令のタイミングを判断している。



ずっと大府で生きていく
市民の投票率向上のために

藤本 宗久 議員



質問 市内の全投票所に当日投票システムを導入するべきと考えられるが見解はどうか

答弁 受付事務の効率化、事務従事者の負担軽減のほか、年別の投票率を把握するため、市内全域への当日投票システムの導入について検討していく。

質問 共通投票所制度を導入することを検討してはどうか

答弁 多くの自治体では、利便性を維持しつつ、投票所の廃止・統合を行うために共通投票所を導入している。また、共通投票所には、一つの投票所のシステムに障害が発生した際に全ての投票所で受付ができなくなる等の課題もある。よって、他の自治体の動向を注視し、調査研究を進めていく。

質問 スーパー、工場や事業所といった民間施設に投票所を設置してはどうか

答弁 当日投票所となる施設については、駐車場の確保や、バリアフリー化、時期によらず確保が容易な点などから、原則公共施設を指定している。期日前投票所を人が集まりやすい商業施設等に設置することは、投票率の向上に一定の効果があると考え、市役所以外での期日前投票所の拡充に向けて検討を進めている。

質問 投票機会の拡大に向けてマイナンバーカード活用の可能性をどのように考えるか

答弁 現在は、投票所での受付の際の本人確認手段の一つとして、マイナンバーカードを活用している。期日前投票所における宣誓書の記載に代わり、マイナンバーカードの読み取りにより本人情報を出力したものを使用する等、マイナンバーカードを活用している事例もあるので、他の自治体の動向を注視していく。



みんなが参加しやすい選挙と
みんなが議論する新駅構想を

飯尾 祐介 議員



質問 無投票の選挙を周知するためにどのような取組を行っているか

答弁 無投票となった場合は、告示日当日に、市公式ウェブサイトに及びSNSでの周知や、投票所への貼り紙を行っている。その他の効果的な周知方法についても調査研究をしていく。

質問 障がいのある人が参加しやすい選挙とするため、選挙公報の読み上げに対応する考えはあるか

答弁 障がいのある方へ選挙公報等の情報を提供することは、課題であると認識している。音声コードや音源の配布、ウェブサイトにの読み上げソフトに対応したデータの掲載等、それぞれ的手法について調査研究を進めていく。

質問 これまでに新駅構想に関連した支出の総額は幾らか

答弁 平成25年度末までに、用地費として、約24億3千万円を支出している。

質問 第6次総合計画策定時に「新駅構想について「長期的な視点」という文言が加わったのはなぜか

答弁 既に都市拠点となっている既存の共和・大府両駅周辺のまちづくりを優先的に推進していくことを念頭に、新駅については、長期的な視点で対応していくこととした。

質問 かつて市公式ウェブサイトで公開されていた新駅構想とその回答が現在閲覧できないのはなぜか

答弁 新駅構想を長期的なまちづくりの視点で取り組んでいくこととしたため、令和2年6月に市公式ウェブサイトにおける公開情報を更新した。

※第6次総合計画とは、市政運営の総合的かつ長期的な指針。本市では第1次総合計画から「健康都市」の実現をまちづくりの基本的な理念に掲げており、現在の計画は、令和2年度から令和12年度までの11年間を計画期間としている。



大府市の防災・減災について

野北 孝治 議員



質 問 避難者の徒歩帰宅経路上の安全確認をどのように行っているか

答 弁 災害対策支部では、危険巡視箇所等の確認のために担当地域を巡回し、河川、ため池の水位や、道路の寸断等の確認を行っている。本年3月から導入した防災情報アプリ「おおぶ防災行政ナビ」を活用して、各支部の巡回時の情報を、その場から速やかに本部に情報発信し、従来よりも迅速に情報を収集し、安全の確認に努めている。

答 弁 長期保存できる専用食品を普段から食べ慣れていること、ことや、買いそろえることが大変なこと、備蓄がなかなか進まない傾向にあったが、最近では、普段から食べているもので保存がきく食料を多めに買い、賞味期限が近いものから消費し

て、その分を買い足す備蓄方法（ローリングストック）が普及してきている。DAIWA防災学習センターの来館者へローリングストック方式による備蓄食料の保存方法を説明するなど、この方式による食料の備蓄を保つことが大変重要と考えている。今後、防災出前講座や地域の防災訓練等の場を活用して、より一層周知・啓発に努める。

質 問 水害が予測される際の消防団の役割は何か

答 弁 本市の消防団の風水害への対応は、災害対策本部が設置された場合、状況に応じ、災害対策本部や各消防団詰所に参集し、支部との連携を図りながら、応急措置に関することを始め、地域の巡回・警備、住民の避難誘導、地域の自主防災活動の援助、さらには、消防本部・消防署と協力し、排水活動、救助活動、行方不明者の捜索などが主な役割となる。



大府市をもっと魅力ある活気あふれるまちとするために

太田 和利 議員



質 問 駅周辺のまちづくりについての計画策定のスケジュールをどのように考えているのか

答 弁 駅周辺のまちづくりに関して、令和3年度から大府駅及び共和駅周辺のまちづくり検討会議を開催し、駅周辺の特性や課題などについて協議してきた。両駅周辺において、魅力ある利便性の高い都市空間を形成し、にぎわいの創出に向けた「大府駅及び共和駅周辺まちづくり計画」の策定を進めている。計画については、7月にパブリックコメントを実施し、9月に公表する予定である。

答 弁 商工会議所や地域団体のほか、地元の事業者、大学及び企業の関係者で構成した大府駅及び共和駅周辺のまちづくり

検討会議での意見を踏まえながら、計画策定を進めていく。

質 問 大府駅東側の市営駐車場の場所へ幼老複合施設を含んだ地域福祉総合ビルを建てることについてどのように考えるか

答 弁 昨年度に策定した大府市立地適正化計画に基づき、都市機能誘導施設である子育て支援機能を有する施設を基本に検討を進め、そのほかの施設機能については、ニーズや事業の採算性を考慮し、判断していく。

質 問 大府駅東の東南地域のまちづくりの計画をどのように考えているのか

答 弁 今後の東南地域のまちづくりを進めていくためには、多くの地権者の協力や、地域のまちづくりの機運向上などが必要であるため、地域の方との意見交換を踏まえながら、中長期的な視点で検討していく。



健康都市おおぶの公園と
スポーツ推進について

小山 昌子 議員



質問 公園の点検と管理はどのように行われているのか

答弁 遊具の点検については、年に2回、公園施設点検管理士による点検を行っている。また、公園の管理のうち、樹木等の管理は造園業者に、草刈りや清掃などの日常管理はシルバー人材センターに委託しているほか、軽微な事案については、必要に応じて職員で作業を行っている。市民からの通報等があった場合は、速やかに職員が現地に向き、状況を確認して対応するほか、職員による巡回なども行い、適切な点検と維持管理を行っている。

を反映している。引き続き、適切な点検と維持管理を行い、誰もが快適で安全安心に利用できる公園管理に努めていく。

質問 子どもたちのスポーツに関する育成をどのように考えているか

答弁 子どもたちに夢と希望を与え、えるとともに、競技の振興と技術の向上を図るため、様々な種目でプロチームや実業団チームに所属する一流選手やコーチを講師とした少年少女スポーツ教室を毎年開催している。全国規模以上のスポーツ競技大会出場者に交付する激励金の制度については、毎年多くの方に活用されている。また、スポーツ功労賞等表彰、文化及びスポーツ活動表彰、教育表彰といった表彰制度も選手の功績をたたえ、更なる向上心を促すといった点で、子どもたちのスポーツに関する育成につながっているものと認識している。

質問 公園の市民ニーズをどのように把握しているのか

答弁 遊具を更新する際には、対象となる公園で、登校前の児童や、近隣の放課後クラブの児童にアンケートを行うなど、遊具の決定に際し、利用者ニーズ

を反映している。引き続き、適切な点検と維持管理を行い、誰もが快適で安全安心に利用できる公園管理に努めていく。



小中学校の教育費の
負担軽減について

久永 和枝 議員



質問 不登校児童・生徒が小中学校以外のフリースクールや塾で学ぶ場合の授業料は無償か

答弁 学校に登校できない児童生徒がフリースクールや塾で学ぶ場合の授業料について、市で費用面の補助はしていないが、教育相談支援体制の人的整備などで支援をしている。児童生徒にとって、まずは市内の学校や施設に通えるように支援をすることが必要なことと考えている。

質問 小中学校9年間の給食費や学校用品等の購入費は「一人130万円掛かる」と試算するが、実態はどうか

答弁 入学準備や部活動等で保護者が個別に負担する費用は個々の状況により異なるが、学費や給食費、修学旅行積立金等、学校が保護者から集金している費用は、小中学校9年間で約70万円程度と推計する。

質問 憲法第26条で「義務教育は、これを無償とする」とされている理由をどう考えるか

答弁 文部科学省においては、「女子の保護者に対しその子女に普通教育を受けさせるにつき、その対価を徴収しないことを定めたものであり、教育提供に対する対価とは授業料を意味するものと認められるから、授業料不徴収の意味と解するのが相当である」と解釈されている。

質問 教育費の負担軽減として、「食」を無償化する考えはあるか

答弁 国の動向を注視するとともに、課題を整理している。

9年間で 1人130万円?

	小学校	中学校
入学準備	60万円?	70万円?
入学準備	10万円? <small>ランドセル・保険料など</small>	20~30万円? <small>制服・ジャージ・靴など</small>
給食・学校用品	約40万円	約30万円
給食費	10万円?	10万円?
学校用品	<small>※給食費、給食費以外に ※文具用品、制服、運動用品 ※ランドセル、保険料、給食費 ※給食費、給食費以外</small>	<small>※ランドセル、保険料、給食費 ※給食費、給食費以外</small>

さらに塾や
習いごと

すぐに高校
入学準備



市営住宅の今後の在り様と
住宅地に隣接する小規模な公園

柴崎 智子 議員



質 問 多世代等から選ばれる市営住宅への工夫を行わないか

答 弁 子育て世帯への住居支援として、市営住宅における所得基準について、今後は、小学生の子どもがいる世帯も対象となるよう、条例改正を早期に検討していく。

質 問 緊急時とは別に、空き部屋の有効利用を検討しないか

答 弁 市営住宅は、令和20年頃までは現状の管理戸数が必要であるため、今すぐに他の有効利用を行っていくことは考えていない。今後の応募状況、退去件数や他市町の事例を参考に調査研究を行っていく。

質 問 住環境の維持のために検討できることはないか

答 弁 本市では樹木剪定・除草、設備の維持管理や空き部屋の管理など、入居者の良好な住

環境が維持できるような対応をしている。

質 問 遊具のない公園に遊具を付設する検討はあるか

答 弁 遊具の設置に当たっては、公園の広さ、安全性、利用される世代及び既存施設や遊具との距離を取るなど、公園を安心して利用するための配慮が必要である。住宅地に隣接する小規模な公園への遊具の設置については、必要とする公園の状況や近隣の都市公園とのバランスなどを考慮し、検討していく。

質 問 吉田配水池の跡地を近隣住民が憩える公園にしてはどうか

答 弁 本年度の当初予算では、売却を計画していたが、今後は近隣住民の意向を確認し、周辺の生活環境にも配慮しながら、跡地の活用方法を再検討していく。



未来へつなぐ
システム整備について

本田 雅志 議員



質 問 ふれあいバスを利用している高齢者の声をどのように捉えているか

答 弁 「市長への手紙」や大府市地域公共交通活性化協議会での懇談などにより、高齢者をはじめとする利用者からの要望や意見を受けている。バスの増便を始め、効率的な乗り継ぎやルートの見直しなど、路線改正の参考としている。

質 問 高齢者のふれあいバスの利用目的をどのように捉えているか

答 弁 令和元年度に実施したバス利用者を対象とするアンケート、また、日頃の個別の要望や意見なども踏まえ、通院、買物及び自動車の代替手段が主の利用目的であると捉えている。

質 問 令和5年10月のダイヤ等の見直しのポイントは何か

答 弁 本市では、様々な交通手段を一つ一つのサービスとして捉えることにより、最適な移動サービスを提供することを重視している。令和2年10月に策定した大府市地域公共交通計画に基づき、昨年3月に市民の要望を踏まえた通院支援の強化として、共和病院への新規乗り入れを含む、中央コースの路線改正を行った。本年10月の路線改正においては、基幹路線である中央コースについて、車両を1台増車することで、便数を拡充する予定である。また、大府駅の自由通路を徒歩で移動しなくてもよいように、大府駅西にも中央コースのバス停を設置することで、路線間のスムーズな乗り継ぎを可能とし、通院や買物など、様々な移動の利便性の向上を図っていく。さらに、JRの東側区域を運行する東コースについて、国立長寿医療研究センターへの直行便を朝と昼の2便創設し、JRの東側区域からの通院支援も強化する。



いつまでも住み続けたい
安心して子育てができるまちへ

稲葉 裕加里 議員



質 問 いつまでも住み続けたい安心して子育てができるまちについての基本的な考え方は

答 弁 本市は、全ての子育て施設を整備している。来年4月には、全ての妊産婦・子育て家庭・子どもの包括的な相談支援拠点として、保健センターにある子育て世代包括支援センターと、市役所にある子ども家庭総合支援センターを開設する予定である。今後も、安心して子どもを産み、育てることができる環境整備を着実に進めていく。

質 問 周りに頼れる身寄りがない人のために産後ヘルパー制度を導入する考えはあるか

答 弁 本市では、様々な不安を抱える子育て家庭や妊産婦に対し、「子育て世帯訪問支援事業」を実施し、妊娠期から出産後の育児不安や負担の軽減を図っている。市内のNPO法人においては、有料ではあるが、会員登録することで、家庭の状況に限らず、一時預かりや家事支援等の産前産後支援も行われている。

質 問 おおぶファミリー・サポートにゼロ歳児の預かり依頼や需要はどのくらいあるか

答 弁 昨年度の実績としては、ゼロ歳児に関する依頼件数は95件で、全てに対応できている。また、事業全体では、依頼のあった559件に対応している。

質 問 日曜日や祝日に緊急の用件で子どもを一時的に預かってもらいたい場合の支援制度はあるか

答 弁 一時預かり事業は「おおぶファミリー・サポート・センター事業」「子育て世帯訪問支援事業」、NPO法人や認可外保育施設が実施し、日曜日や祝日も利用できる。



子どもの健やかな成長と
持続可能なスポーツ環境

竹田 隆憲 議員



質 問 体育授業において児童生徒の運動意欲を高めるためにどのような取組を行っているか

答 弁 全小学校の1年生を対象に、外部指導者を招いて、体力向上プロジェクト「大府はつらつ運動プログラム」を実施している。昨年度は、各クラスの年間時間数を3時間から6時間に拡大した。さらに本年度は、外部指導者を1人増員し担任と一緒に体育の授業を行っている。

質 問 大府市民球場を持続的に市民に使用してもらうために野球人口を増やす取組を行う考えはあるか

答 弁 改修工事により、新たに観客席を設けるため、高校野球などの試合を観戦する機会が生まれる。今後、野球に親しむ機会を増やしていき、野球を好きになる、また野球を始めるきっかけをつくっていくことが、野球人口の増加につながるものと考えている。

質 問 授業以外の児童生徒の運動時間を増やすためにどのような取組を行っているか

答 弁 児童に対しては、大東小学校及び共和西小学校をモデル校とした、運動文化活動支援事業を開始している。授業後の学校施設を利用し、陸上、体操、ダンス、球技などの様々な種目を組み合わせた総合運動コースとすることにより、児童の運動能力を高めていく。

質 問 スケートボードなどのアイススポーツを楽しむ場所を整備する考えはあるか

答 弁 騒音などの課題も数多くあるが、現在のところ専用施設を整備する予定はないが、公園などで他の利用者の協力や近隣住民の理解のもとに利用可能な場所があるため、市民から問合せがあったときに紹介していきたいと考えている。



市内に所在するマンションの
適正管理に関する課題と対応

宮下 真悟 議員



質 問 マンションの管理の状況を把握するために、本市が講ずるとした措置についての検討状況は、その後、どうなっているか

答 弁 県や同様の事務処理を行っている知多管内の市と情報共有を図り、今後の施策推進について検討している。また、令和3年度に県が行った調査結果をもとに、パトロール時に現地調査を行うことに加え、本年7月に管理者へ連絡するなど、フォローアップする予定である。

質 問 マンションの管理の適正化に関する啓発及び知識の普及についての具体的な取組状況はどのようなか

答 弁 窓口や市公式ウェブサイト等での普及、啓発に加え、大府市開発等事業の手続及び基準等に関する条例の対象になる場合、新築や改修手続の際に管理計画認定制度を紹介している。

また、本年7月に全てのマンションに制度内容をダイレクトメールで周知する予定である。

質 問 マンション管理計画の認定について、現状と今後の見通しはどうか

答 弁 マンション管理計画認定制度を開始した昨年10月以降、制度内容についての問合せが、管理を委託されている業者から2件あった。具体的な相談までには至っていないが、今後は、全国的な制度の普及に伴い、税制優遇の措置のメリットを考慮し、制度の活用が予想される。

質 問 「マンション管理適正化推進条例」の必要性についての見解はどうか

答 弁 今後は実態を把握した上で、管理不全度の状況によっては、条例を制定し、推進していく必要も視野に入れ、継続して調査研究していく。



誰もが住み続けたい
健康都市おおぶについて

森山 守 議員



質 問 移動・移送支援の今後の基本的な考え方はどうか

答 弁 高齢者・障がい者の外出手段を確保することは、本人の生きがいや心身の健康の維持とともに、介護予防のためにも重要な課題であり、多面的な方策や支援が必要であると考える。今後は、社会福祉協議会や民間事業者と連携し、介護保険の関連事業所の送迎用の車両や運転手などの既存の社会資源を活用した新たな仕組みづくりを進めるなど、支え合いによる移動・移送支援についても検討していく。

質 問 中心市街地の活性化について、高齢化が進む地主、居住者の意思をどのように反映させ、誰が具体化するのか

答 弁 これまでに「土地利用を変えざる予定はない」「現状に困っていないのでそっとしておいてほしい」「子の世代で考

えらと思う」等の声を聴いている。地主や居住者と話し合う機会を設け、不安を取り除き、共有の考え方を反映するため、地域の課題にいち早く気づき、行動する「キーパーソン」のような住民が中心となって、市とともに地域の在り方を一緒に考えていくことが望ましいと考える。

質 問 防護服を生み出し活用された経験を、医福工連携の今後にどう生かしていくのか

答 弁 防護服の事例を通じて、自動車縫製の技術やノウハウも医福工連携に生かすことができ、今後のマッチング支援や、開発後の普及啓発支援策を通じて、企業の取組を後押ししていく。



▲大府市・医福工連携により作られた防護服の説明

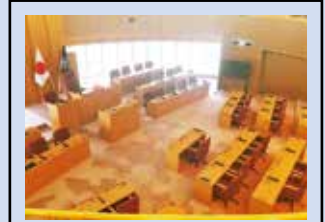
どなたでも
傍聴できます

ぼうちょう
議会へ傍聴に行こう!

本会議 編



- 1 1階入口に設置の案内板
- 2 6階傍聴ロビーへ
- 3 受付で傍聴券を受け取る
- 4 傍聴席へ
- 5 車いすスペース
- 6 お子様連れの方は傍聴ロビーでモニターを見ながら傍聴できます
- 7 アンケートにご協力ください!



本会議後、インターネット録画配信をご覧ください。 (会議当日からおおむね1週間で公開する予定)

大府市トップページ
>本会議録画配信

9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
				本会議(初日)		
3	4	5	6	7	8	9
				一般質問	一般質問	
10	11	12	13	14	15	16
		建設産業委員会	厚生文教委員会	総務委員会		
17	18	19	20	21	22	23
			本会議	常任委員会予備日*	常任委員会予備日*	
24	25	26	27	28	29	30
			本会議(最終日)			

いずれも午前9時からです ※常任委員会予備日は、審査の経過により開催しないことがあります

議会広報委員会

これから1年間、私たちが「ぎ
かいの広場」の編集を担当しま
す。皆様からのご意見をお聴き
しながら、より良い紙面づくりに
努めてまいりますので、よろ
しくお願ひします。



- 加茂康治 副委員長
国本礼子 副委員長
森山 守 委員長
稲葉裕加里
蟹江陸孝
飯尾祐介
木下久子

暑中お見舞い 申し上げます

政治家は、公職選挙法により、暑中見舞いなどの挨拶状を出すことが禁止されています。御理解よろしくお願ひします。
大府市議会議員一同